

**石井新理事長就任のご挨拶**

今般、新型コロナウイルスの影響で皆様も大変ご苦労されている中、理事長を拝命いたしました。

総会も、主に書面議決によるものと過去に例を見ない方法で開催され、その中で理事長に選任されまして、皆様には書面にてのご挨拶となり、誠に残念に思っております。

このような環境下、組合員の皆様に対し、何がお役に立てるか、新役員の皆様と共に知恵を絞り、組合活動を進めてまいりたいと考えております。

どうぞ宜しくお願いいたします。



**岸部前理事長退任のご挨拶**

この8年間、皆様には大変お世話になりました。無事、理事長職を務め、次期理事長につなげることができました。

今年は、新型コロナウイルスの為、困難なことが山積していますが、新理事長の下、一致団結して乗り切って行こうではありませんか。

長い間、ご支援頂き、有難うございました。



**理事会だより**

6月25日(木)、神奈川中小企業センタービルで、新体制になって初めての理事会が開催された。

人事では、岸部前理事長と加藤元理事長に相談役を委嘱することとし、出席していた岸部理事に石井理事長から委嘱状が手交された。委員会及び委員長は従前どおりとし、総務委員長に辻政彦氏、経営対策委員長村岡高幸氏、教育技術委員長に小原清太氏が就任することとなった。

コロナ禍により、ライン電話やズームによる会議開催の実績が報告され、当組合においても、総務委員会でもリモート会議の実証実験を行うこととした。また、例年11月に賛助会員さんとともに研修・親睦を深める、宿泊を伴う合同支部会については、「ワクチンができるまでは、懇親会の開催は難しい」という意見が大勢で、本年度は合同支部会は開催しないこととなった。

令和3年度県予算要望については、コロナ禍により、今年度は「要望書のみを提出する」こととし、「公共建築工事等での鋼構造の積極採用」を継続提出するとともに、「新型コロナウイルス感染対策の中小企業向け融資制度の柔軟な対応」

「新型コロナウイルス感染症が蔓延している状況における公共工事受注者への指導」の2件を新規に要望することとなった。

また、今回で4回目となる実質年間生産高調査を7月中旬に全組合員に対して依頼することが報告された。これまでと同様、回答率100%を目指しますので、ご協力をよろしく願います。



**性能評価事前研修会が開催された**

令和2年度前期、鉄骨製作工場の性能評価に申請した5社に対し、6月24日15時から、事前研修会が行われた。(1社欠席)

講師は小原教育技術委員長と目黒事務局長。

今年度は、全鉄評が策定した「工場審査における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を踏まえて受審するよう依頼があった旨を説明。受審者にとって一番影響が大きいことは、審査時間短縮のため、審査員が事前に審査書類に目を通していただけるよう、審査される各種基準類及び「審査項目と資料番号対比表」を、審査日の2~3週間前までに全鉄評に3部送付するというもの。その他、審査時の体調管理、審査員の工場への移動方法、審査会場における感染防止等について説明。

小原委員長からは「鉄骨製作工場の基準マニュアル集」(2019年2月改訂版)のCDをプロジェクターで投影しながら、工作基準や検査基準などについて詳細な解説があった。

受審者からも適宜、これまでの受審経験や事前送付するに当たって勉強したことなどが披露されたり、それに対する質疑応答があったりなど、和やかで有意義な研修会であった。



- ・上記CDは令和元年度総会時(2019.5.22)に配付済みです。
- ・令和2年度後期申請予定のファブについては、別途研修会を開催する予定です。

## 鉄骨加工業概論の授業始まる

本来は4月14日から始まるはずであった、日本溶接構造専門学校鉄骨生産工学科2年生への「鉄骨加工業概論」の講座が、新型コロナウイルス感染症の影響により、1ヶ月半以上遅れて、6月2日から始まった。今年で11回目となる。毎週火曜13時から1時間半の授業で、前期14回が予定されており、始まりが遅かったため、最終日が9月15日となる。

講師は例年どおり、岸部、石井、小原各氏が順番に担当し、経営者の立場からファブの技術、経営のあり方を展開していく。今年の生徒は6人で、全員が男子、ファブの子弟であった。



左：ソーシャルディスタンスをとって、机の距離が離れている。  
右：岸部講師の前に、飛沫防止用の手づくりシールドが張ってある。

初日は、岸部講師が鉄構業界の実態、不良鉄骨に対する品質確保の歴史、相次ぐ災害への対応、溶接や構造の知識、資格取得の意義など序論を講義した。具体的には、卒業までにUTの資格は必ず取得すること、労働安全の技能講習・特別教育も受講して、経営者としての責任をもつよう、話があった。

今後は工場見学も含め講師が交替で、建築鉄骨の歴史、設計、材料、加工、検査、経営管理まで講義する予定。



## 青年部の横顔

No. 29



(株)岸本建設工業  
取締役 岸部 洋平  
平塚市東豊田480  
TEL : 0463-51-1150  
FAX : 0463-51-1155  
E-mail : kisimoto-  
kisibe@outlook.jp

弊社は創立者である祖父が昭和40年に茅ヶ崎の自宅で会社を設立しました。その後、寒川町に工場を建て、平成10年に相模縦貫道の走路にかかった関係で、現在は平塚市の工業団地内に工場があります。耐震補強鉄骨の加工をメインに設備架台や建築鉄骨の工場加工から現場建て方まで請け負っています。

私の主な仕事は施工図の作成、現寸及び材料発注、提出書類作成等行っています。今の仕事面の目標は誰がみてもわかりやすい施工図の作成、正確で早い現寸、材料の発注、提出書類作成をできるように日々勉強しています。

青年部では勉強会や懇親会で同業他社の方と触れ合う機会ができ、自分の会社だけでは気づけなかったことを学べて、とてもよい刺激になっています。

趣味はサイクリングです。学生の頃から神奈川県内を中心に千葉や仙台の方まで自転車で出かけていました。現在は趣味が興じて自宅から会社まで1時間かけて自転車通勤しています。ですが、なかなか痩せません。



## 新賛助会員のご挨拶

去る5月組合理事会におかれまして、賛助会員としての入会を承認いただきました明治鋼業株式会社でございます。

主に溶融亜鉛めっき鋼板を素材とした建材製品の成形、切断、折り曲げ加工をしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

現下新型コロナウイルス感染防止のため、直接ご挨拶にお伺いできませんが、組合規則を守り、組合発展のために誠心誠意努力いたしますので、ご指導ご愛顧賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

明治鋼業(株)  
建材部長  
佐藤利之

軽量形鋼の  
JIS取得認証  
(2010.8.31)



詳しくはこちら↓

<http://www.meiji-kohgyo.co.jp/>

## 賛助会員フルサト工業(株)大段所長着任のご挨拶

5月末に着任致しました、大段(おおだん)でございます。

『三方良し』の精神がモットーで、富山14年山形4年静岡4年の経験を活かし、神奈川でも尽くしてまいりますので、宜しく申し上げます。

1974年大阪府生まれ。単身赴任中(妻・息子3人山形在住)。趣味名所穴場巡り。

